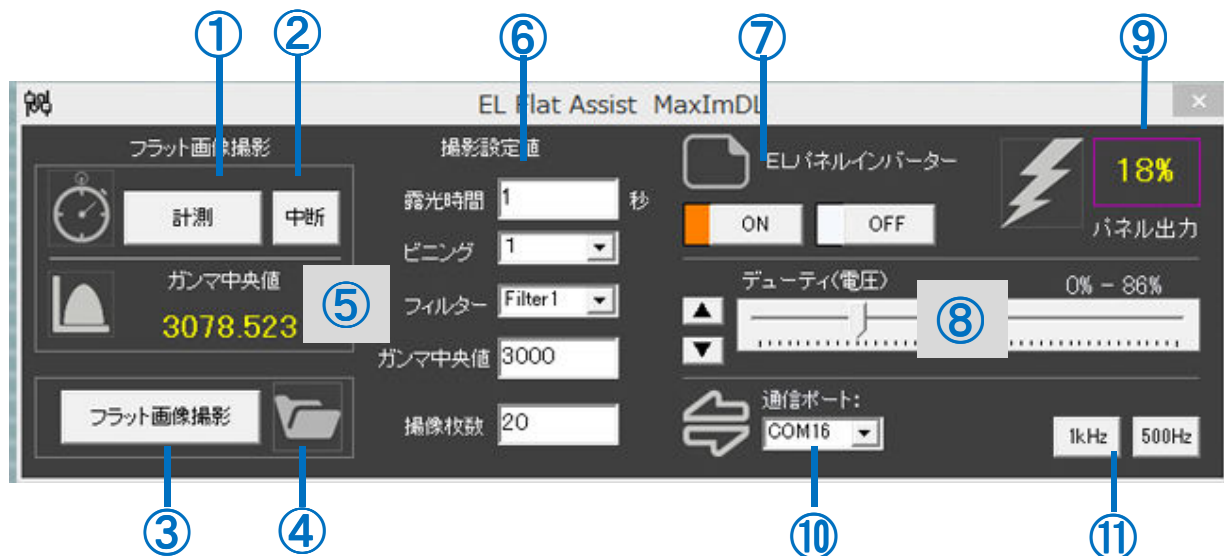


## ☆ ㊦ フラット画像撮影アシストアプリ

各部名称



- 1.計測パネル
- 2.中断パネル
- 3.フラット画像撮影パネル
- 4.フォルダ選択
- 5.ガンマ中央値
- 6.撮影設定値
- 7.インバーターの通信接続
- 8.デューティ設定
- 9.パネル出力
- 10.通信ポート
- 11.パネル発光周波数

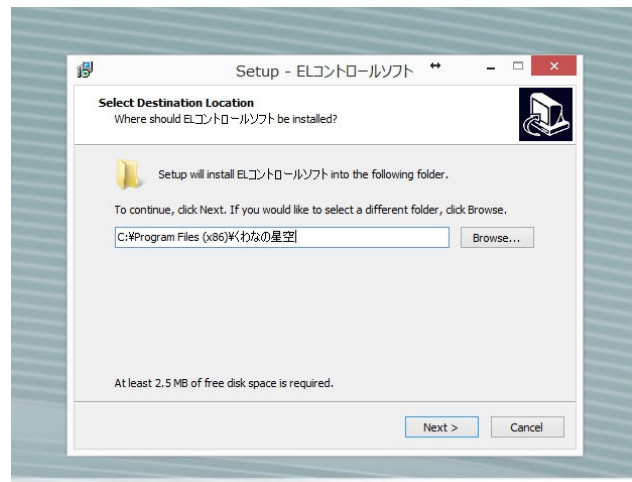
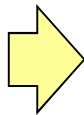
フラット画像を撮影する前に適正なE Lパネルの光量を計測します。  
計測実行中やフラット画像撮影を中断することが出来ます。  
撮影枚数に応じたフラット画像の撮影が出来ます。  
計測後実行してください。  
保存したいフォルダを指定します。  
撮影された画像のガンマ中央値を表示します。  
露光時間、ビニングの有無、フィルターの指定、  
撮影したいフラット画像のガンマ中央値、  
フラット画像の撮影枚数を指定できます。  
デジタルE Lパネルインバーターとの通信を接続、切断します。  
計測やフラット画像撮影前には必ず接続します。  
E Lパネルの光量を調整できます。  
インバーターの出力を表示します。  
デジタルE Lパネルインバーターとの通信ポートの設定をします。  
次回から設定値は反映されます。  
E Lパネルの発光周波数が変更できます。通常は500Hzになります。

## ☆ ㊦ インストール方法

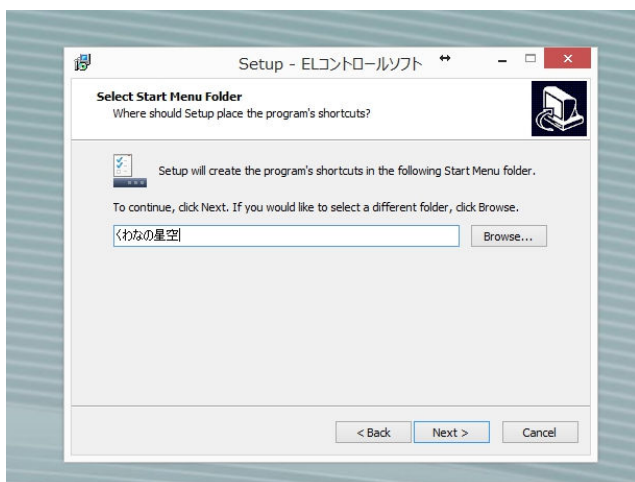
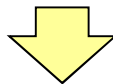
あらかじめ UACの設定を無効にしてFlatELSet をインストールしてください。



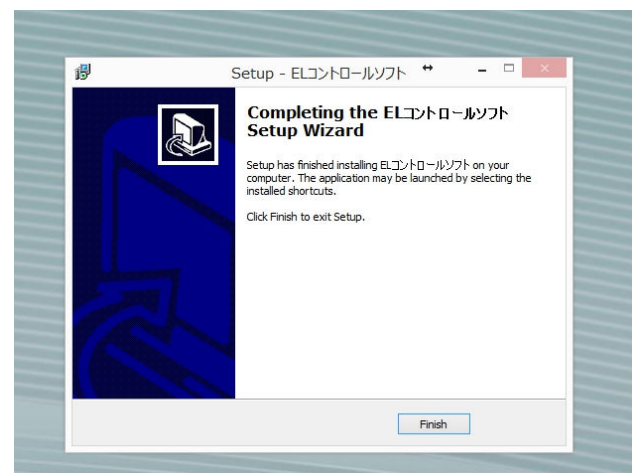
FlatELSetをダブルクリック



NEXTをクリック



NEXTをクリック



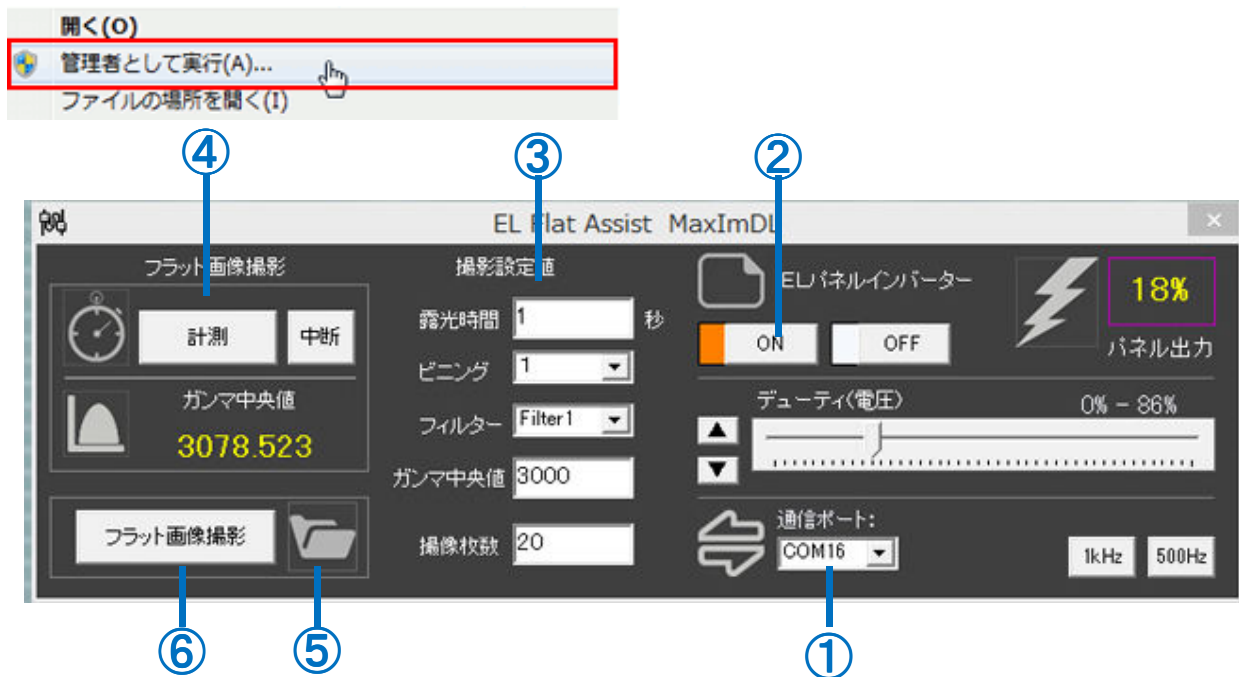
Finishをクリックしてインストールが完了します。



実行ファイルを右クリックして  
管理者として実行をして起動してください。

## ☆ 使用方法

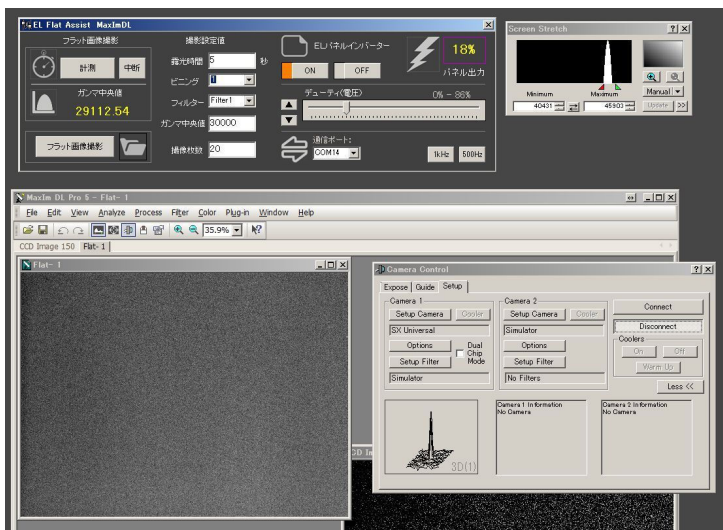
実行ファイルを右クリックして管理者として実行をして起動してください。



### 【使い方の流れ】

事前にMaxImDLを立ち上げてカメラを接続し冷却を済ませておいてください

- ① 通信ポートを指定して 通信開始を選択します。ポート番号は保存され次回から反映します。
- ② ONパネルを選択します。  
パソコンコントロールが開始しE Lインバーターの前面ボリュームが無効になります。
- ③ 露光時間、ビニング、フィルターを設定します。
- ④ 計測パネルを選択し計測を開始します。MaxImDLが自動撮影を開始します。  
中断パネルを選択すると撮影が中断します。
- ⑤ フラット画像を保存するフォルダを選択します。
- ⑥ 計測で決定した光量で撮影枚数に応じたフラット画像撮影をします。  
中断パネルを選択すると撮影が中断します。



実行すれば自動で撮影が開始されます。  
Flat-1, Flat-2 .....と連番で保存されます。

# 著作権

- (1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
- (2) 本ソフトウェアとともに提供されるドキュメント等の関連資料（以下「関連資料」と記載します）、およびサンプルコードの著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。
- (3) 本ソフトウェアとともに提供される著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。

## 2. 権利の許諾

- (1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
- (2) お客様は個人的利用を目的としてのみ、関連資料のコピーを作成できます。  
ただし、ハードコピーか電子文書かにかかわらず、これらをお客様の組織外に再発行したり再配布したりすることはできません。
- (3) お客様のソフトウェア製品を設計、開発、およびテストするためにのみサンプルコードを改変して使用することができます。また、サンプルコードもしくはそれに改変を加えたもの(オブジェクトコード、ソースコードあるいはその両方)を複製して再配布することができます。

## 3. 制限事項

- (1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
- (2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
- (3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。  
上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
- (4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。
- (5) 本ソフトウェアに万が一不具合その他の瑕疵が存在した場合でも、弊社は何らの保証もいたしません。
- (6) 本ソフトウェアの利用により、万が一ハードウェア機器若しくはデータ等に支障が生じた場合でも、弊社は一切その責任を負いません。
- (7) 本ソフトウェアについて、第三者との間で著作権その他知的財産権上の紛争、製造物責任法に基づく紛争等が生じた場合といえども、弊社は一切その責任を負いません。
- (8) 上記の他、本ソフトウェアの利用に関して、お客様又はお客様の顧客に何らかの損害が生じた場合でも、弊社は一切その責任を負いません。
- (9) 弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。  
ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。  
なお、お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

## 4. 責任の制限

- (1) 弊社は、お客様が本ソフトウェアの使用によって受けられた損害について、一切責任を負いません。
- (2) 上記(1)または法令により弊社が損害賠償責任を負う場合においても、社会通念上、当該種類の債務不履行、不法行為等から通常発生するものと考えられる損害（いわゆる通常損害）を超える損害については責任を負いません。